



水土里情報を活用した多面的機能支払への取組みについて紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 熊本県農地・水・環境保全向上対策地域協議会

取組概要

- 内容: ①個別版水土里GISの業務支援ツールとして多面的機能支払事業に特化したシステムを開発
 ②活動計画図作成、現地確認、施工実績入力等の作業が可能となり、事務作業の効率化を実現

経緯: 多面的機能支払事業では活動計画作成や現地確認、施工実績の管理など、市町村が事務作業を行うにあたり、作業の簡素化および効率化が課題となっていた。

このため、熊本県農地・水地域協議会が中心となり、多面的機能支払事業事務支援を目的としたシステム開発を行い、今年度より運用を開始する予定である。



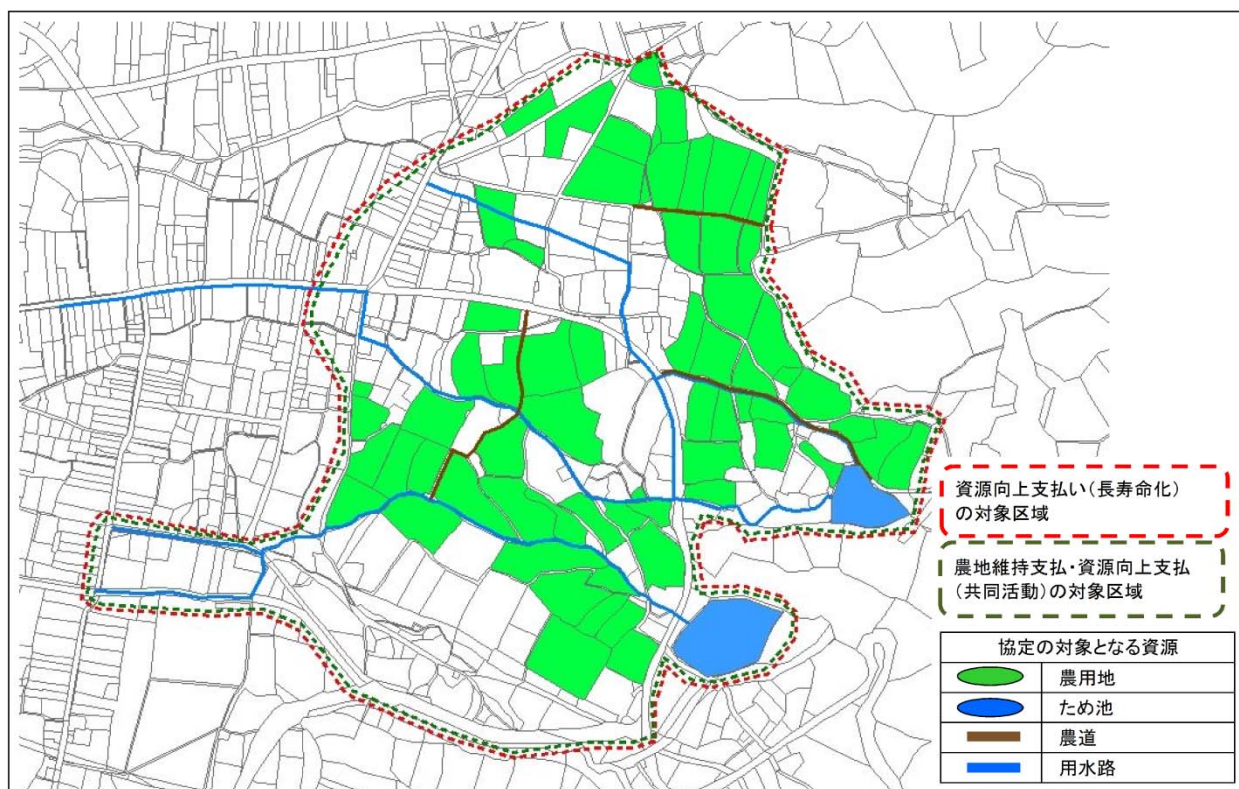
業務支援ツールとして開発



期待される効果

- ① 活動計画図作成、現地確認、施工実績入力等の事務作業の効率化。
- ② データベース化によるデータ管理の省力化
- ③ 可視化による情報の共有化
- ④ 既存の業務情報との重ね合せによる農村振興施策立案の効率化

(別紙)
協定対象区域図面



多面的機能支払活動組織協定対象区域図

今後の活用予定

利用者からの要望等を踏まえた機能の充実およびタブレット端末との連携を行い現地確認作業の簡素化を図る。

■お問い合わせ先

熊本県土地改良事業団体連合会 会員支援課水土里情報係 096-348-8802(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2201(直通)